

学校関係者評価の結果(令和7年1月30日実施)

新居浜市立角野中学校

第4回角野校区学校運営協議会において、保護者の評価、生徒アンケート、教職員の評価とそれらの考察について説明を行い、委員から以下のような意見を得た。

- 生徒と保護者の評価に差がある。一般的に、自己評価より他者評価は厳しくなるもの。特に質問5については、現行のICTを活用した授業が、保護者には見えていないのではないかと感じた。
- 保護者と子供のコミュニケーションが、家庭であまり取れていないのではないかと思う。保護者が忙しく、子供の話に耳を傾けていないことが、アンケート結果に表れている部分があると思う。
- 2年生の保護者が特に厳しいジャッジをしている。4月から3年生になるが、先生と保護者の関係づくり、改善に努めてほしい。
- 生徒の自転車の乗り方が危険に感じることもある。生徒は客観的に自分を見ることができていないので、学校で交通安全のルールを教えていき、命を大切にする行動ができるよう導いていく必要がある。
- 質問17について、地域を支えている立場から結果を見て、大変うれしい。地域行事に参加できていない生徒も、肯定的に捉えている。4月からは、新1年生を中心にさらに積極的に参加できるよう働きかけていきたい。

学校運営協議会の委員の方から、客観的に判断したご意見や、温かいご意見をいただいた。保護者からの厳しい評価については、学校教育へ関心を持ってくださったことに感謝し、全教職員で真摯に受け止め、改善を目指している。今回の貴重な意見を生かし、児童・生徒の健やかな成長のための教育を、今後も実践していきたい。